

# 大学院課程における分野横断的な能力の育成

梅田 香穂子、大学教育統括管理運営機構 准教授



## 1 研究概要

大学院課程では、専門性に加え、学際性や課題解決力などの分野横断的能力の育成が求められており、「博士課程教育リーディングプログラム」等の文理融合教育では異分野交流やインターンシップ、知識取得等の面で有効性が示されている。

しかし、分野間の研究の共有・相対化や異分野の教員との交流の機会も限られており、異分野の学びが主専攻研究と十分に融合しているとは言い難い。



### 大学院教養科目「研究の最前線と知の統合」 多様な知を接続する力や学際的視点の育成

概論+各分野の6回の授業+総合討論

多様な分野の教員が共通テーマで授業を行い、教員と学生、あるいは学生間で議論する双向型・対話型授業

5年度分のシラバス分析：共通テーマのもとでの異分野の授業が「社会」「研究」「影響」などの語を介して結びつき、授業設計の意図を反映した学際的接続がみられることを明らかにした。

学生レポートの分析：複数授業で得た知を「個人」「環境」「社会」と関連づけ、自らの考えを構築する姿勢が確認された。

年度	共通テーマ	6回の授業の分野構成
2020	老い・Aging	文学1、医学3、薬学1、工学1
2021	いのち・Birth	文学1、法学1、保健学1 薬学1、医学1、工学1
2022	ウィズコロナ時代の Well-Being	教育学1、文学1、保健学1 医学1、工学2
2023	持続可能な未来と Well-Being社会	文学2、法学1、医学1、工学1 理学1
2024	持続可能な未来とレジリエンス	文学1、法学1、薬学1、医学1 工学1、理学1
2025	未来を共創するレジリエンス	文学2、法学1、薬学1、工学1 情報融合学環1

梅田 第47回大学教育学会2025

## 2 提供できる技術や応用例

- ・分野横断的な博士課程教育プログラムの構築
- ・専門知と総合知を育成する教育科目・評価手法の開発

## 3 研究分野・キーワード

高等教育 異分野横断的能力 大学院 博士課程

